

# NARITA

NO. 55

# 市議会だより

発行/成田市議会 編集/成田市議会だより編集委員会 〒286-8585 成田市花崎町760 Tel 0476-20-1570(直通) Fax 0476-24-0336



▲「鉄道の日」を記念して、ミニ蒸気機関車の運行やD51の見学会が行われました(10月11日 栗山公園)

## 9月定例会市議会のあらまし

平成21年第4回定例会市議会は、9月4日に招集され9月25日まで22日間の会期で開かれました。定例会市議会の初日には、24議案が上程されました。8日には、決算特別委員会が新たに設置されました。

一般質問は、9月8日から10日まで14人の議員が登壇して行われ、10日には、議案3件が同意されました。11日からは各常任委員会、特別委員会が開かれました。

最終日には、議案11件と発議案3件を原案どおり可決・承認し、閉会しました。

### 主な内容

- ☆可決された議案の概要……………2
- ☆国に意見書を提出……………3
- ☆特別委員会から……………4
- ☆決算特別委員会を設置……………4
- ☆審議案件一覧……………5
- ☆一般質問から……………6
- ☆コーヒータム……………12

## 【9月定例会市議会の日程】

期 日	内 容
9月4日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
8日(火)	本会議(一般質問) 決算特別委員会
9日(水)	本会議(一般質問)
10日(木)	本会議(一般質問、議案審議、議案質疑、委員会付託) 決算特別委員会
11日(金)	新清掃工場整備特別委員会
14日(月)	新駅・基幹交通網整備促進特別委員会 建設水道常任委員会
15日(火)	空港対策特別委員会 教育民生常任委員会
16日(水)	経済環境常任委員会 総務常任委員会
25日(金)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)



# 14議案を可決・同意・承認 国民健康保険条例の一部改正や一般会計補正予算など

9月の定例市議会では、人事案件3件、条例の一部改正3件、契約案件4件、補正予算関係案件2件など14議案が審議され、いずれも原案どおり可決・同意・承認されました。また、議員から提出された発議案3件も可決されました。議事に寄せられた請願3件はいずれも採択となりました。なお、平成20年度決算関係10議案は継続審査となりました。

## ●可決された 議案の概要

上程された議案は、各委員会に付託され審査が行われた後、最終日の本会議で可決されました。

### 総務常任委員会

#### ▼成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて

【内容】平成21年度の税制改正に伴い、施行期日の関係から専決処分を要しなかった部分について、所要の改正を行うもの。

#### 【主な質疑】

問 今回、新たに創設された住宅ローン控除の適用が受けられない平成19年、20年に入居した方々に不公平は生じないか。

答 返還期間の選択により今回のローン控除と同等の効果が得られることで救済される。

#### ▼市有財産の無償貸付について(大久保台区)

【内容】大久保台区が新たな集会所を建設するため、市有地を無償で貸し付けするに当たり、議会の議決を求めるもの。

#### 【主な質疑】

問 契約相手先は区であるが、地縁団体としての契約をしないことで問題はないか。

答 区と契約であることから、財産の責任については区の構成

#### 員全員で持つので問題はない。

▼専決処分の承認を求めるについて(平成21年度成田市一般会計補正予算(第2号)) Ⅱ専決第5号)

【内容】平成20年度に納付された法人市民税について、確定申告により中間納付からの多額の還付金が生じたため、還付加算金を考慮し、10億1,800万円を増額補正の専決処分をしたことについて、承認を求めるもの。

#### 【主な質疑】

問 今回の還付対象となる企業の数は。

答 9月当初は374件の処理であり、今後、約90件処理する予定である。

#### ▼平成21年度成田市一般会計補

#### 正予算(第3号)

【内容】消防車両・装備強化整備事業及び小・中学校教材備品整備事業等を実施するため、歳入歳出それぞれ6億4,149万7千円の増額補正を行うとともに、新たに繰越明許費の設定及び債務負担行為の追加を行うもの。

#### 【主な質疑】

問 地域活性化・経済危機対策臨時交付金については、成田市内の業者に発注することが活性化することとなるのでは。

答 国から地域の中小企業の受注機会に配慮するよう求められている。

### 教育民生常任委員会

#### ▼成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて

【内容】緊急の少子化対策として、平成21年10月1日から平成23年3月末日までの間に出生した場合に、出産育児一時金を4万円引き上げること等を内容とする健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されたことから、成田市の国民健康保険の出産育児一時金についても、同様の期間において、支給額を現行の38万円から42万円に引き

上げるもの。

#### 【主な質疑】

問 出産育児一時金を42万円に引き上げた場合、出産の経費は大体それでおさまるか。

答 国の調査によると分娩・入院費用は、全国平均で42万3,957円である。

#### ▼成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて

【内容】平成21年度の税制改正に伴い、介護納付金課税額の法定課税限度額が引き上げられたことから、成田市においても、平成22年度分以降の課税限度額の見直しを行い、現行の8万円から9万円に改正するもの。

#### 【主な質疑】

問 介護保険会計の現状と介護納付金課税額の課税限度額引き上げの関連は。

答 国の税制改正の中で、平成



▲建設中の(仮称)大栄野球場

※1：議会が議決をしなければならない事柄について、議会を招集する暇がない緊急の場合に、地方公共団体の長が議会に代わって処理を行うこと。 ※2：その年度内に事業が終了しない見込みとなった場合に、予算を翌年度に繰り越して執行することができるもの。 ※3：将来にわたる債務を負う契約を結ぶこと。

## 国に意見書を提出

9月定例会市議会では、議員から提出された議案（発議案）3件が可決され、国及び関係行政機関に意見書が提出されました。

### 細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書

細菌性髄膜炎の日本での患者数は、毎年約1,000人にのぼると推定され、その約6割強がインフルエンザ菌b型（Hib＝ヒブ）によるもの、約3割が肺炎球菌によるもので、この二つの起因菌によるものが全体の約9割を占めている。

細菌性髄膜炎は早期診断が大変難しい疾病であり、治療には起因菌に有効な抗生物質を多く投与することが必要だが、近年、ヒブの薬剤に対する耐性化が急速に進んでおり、適切な治療が難しくなっていると指摘されている。

ヒブと肺炎球菌による細菌性髄膜炎は、ワクチン接種で予防することができ、ワクチンを定期予防接種化した国々では発症率が大幅に減少している。

日本においては、平成20年12月にヒブワクチンが販売開始となったが、定期予防接種化されておらず、また、乳幼児に使用できる肺炎球菌ワクチン（7価ワクチン）は、承認待ちの状況で一日も早い導入が求められているところである。

早期発見が難しく、迅速な治療を施しても予後が悪く、さらに菌の薬剤耐性の高まりによる治療の困難化が指摘されている細菌性髄膜炎は、早期に定期予防接種化することが重要であり、下記について強く要望する。

#### 記

- 1、速やかにヒブ重症感染症（髄膜炎、喉頭蓋炎、および敗血症）を予防接種法による定期接種対象疾患（一類疾病）に位置づけること
- 2、肺炎球菌ワクチン（7価ワクチン）を薬事法に基づき早期承認のための措置を講じること

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成21年9月25日

千葉県成田市議会

この他に「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」、「食品表示制度の抜本的な改正を求める意見書」が提出されました。

21年度から法定課税限度額が9万円から10万円に引き上げられた。成田市では、被保険者の負担軽減等を考慮して据え置いたが、納税義務者間の負担の均衡を考慮し、8万円から9万円に見直しをするものである。

▼（仮称）大栄野球場本体整備工事請負契約の締結について

【内容】（仮称）大栄野球場の内野及び外野スタンドの築造並びにグラウンドの整備工事の契約を締結することについて、議

会の議決を求めるもの。

【主な質疑】

問 外野を人工芝にした経緯は。

答 工事費及び維持管理費等を総合的に判断するとともに、利用可能日数を増やすことを考慮した。

▼（仮称）大栄野球場照明塔新設工事請負契約の締結について

【内容】（仮称）大栄野球場の夜間照明塔を6基新設する工事の契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑】

問 今回の落札額は予算額と大きな違いがあるが。

答 予算には、くい打ち等の工事を含んでいるが、今回の工事には含まれていない。

▼平成21年度成田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

【内容】事業勘定において、出産育児一時金の支給額の引き上げ措置に伴い、歳入歳出それぞれ462万5千円を増額補正するもの。

【主な質疑】

問 出産育児一時金の引き上げは暫定措置ということだが、今後の考えは。

答 国では、平成23年4月以降については、保険給付のあり方、費用負担のあり方などを引き続き検討し、その結果に基づき所要の措置を講ずる予定である。

## 経済環境常任委員会

付託された議案はありません。

## 建設水道常任委員会

▼市営住宅南囲護台団地1期新築工事（建築工事）請負契約の締結について

【内容】平成22年12月の完成を目前に、3階建て21戸を予定している市営住宅南囲護台団地の建築工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑】

問 現在、住んでいる方々が、新しい市営住宅にスムーズに移行できるのか。

答 部屋の大きさによって、家賃も異なるので、本人の希望を

取り入れて考えていきたい。

## 新清掃工場整備特別委員会

▼（仮称）成田市・富里市新清掃工場建設工事請負契約の締結について

【内容】いずみ清掃工場の老朽化に伴い、長期にわたる安定的なごみ処理の確保を目的として、富里市と共同で建設する（仮称）成田市・富里市新清掃工場の建設工事請負契約を締結することについて、議会の議決を求めるもの。

【主な質疑】

問 入札を開始してから、落札が決まるまでの間に、業者からどんな問い合わせがあったか。

答 入札公告に関するもの、入札説明書、建設工事請負契約書の案、要求水準書のそれぞれの施行、維持管理に関するもの及び特別目的会社を設立するに当たっての条件の確認の他、施工するに当たってのアセスメントの取り扱い方等、様々な質問があり、総数は203件であった。

## ● 人事案件

▼教育委員会委員の任命の同意

を求めるについて(山口 恵子) **〔可決〕**

**〔同意〕**

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(大里 操) **〔同意〕**

**〔同意〕**

▼人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて(三浦 節子) **〔同意〕**

**〔同意〕**

●**発議案(議員提出の議案)**

▼細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書 **〔可決〕**

**〔採択〕**

▼肝炎対策のための基本法の制定を求める請願書 **〔採択〕**

**〔採択〕**

定を求める意見書 **〔可決〕**

▼食品表示制度の抜本的な改正を求める意見書 **〔可決〕**

●**請願の審査結果**

▼細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書提出を求める請願書 **〔採択〕**

**〔採択〕**

▼「肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書」の採択を求める請願 **〔採択〕**

**〔採択〕**

▼食品表示制度の抜本的な改正を求める請願書 **〔採択〕**

**〔採択〕**

# 特別委員会から



## 空港対策 特別委員会

執行部及び成田国際空港株式会社から5件の報告がありました。

「平成20年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果について」では、平成20年度の騒音測定結果は、第1種区域の外側に設置した測定局で、年間値、月間値とも75Wを超えた測定局はない

とのことでした。A滑走路を北側に離着陸する航空機騒音は、

年間のW値が0.8から1.4減少しており、これは騒音レベルの大きい航空機の運航比率が下がったことに加え、低騒音型の航空機の比率が増えていること

によるものと思われるのとこのことでした。また、騒音対策の方向性としては、騒音軽減運航方式や運航規制だけでは、航空機騒音を低減させることができないため、成田国際空港株式会社

# 決算特別委員会を設置

## 委員長に 堀川 洵 議員

平成20年度決算関係議案を審査する決算特別委員会が、9月定例市議会において設置されました。



委員長 堀川 洵

喜吾明 一樹 彦未  
茂真雅 孝春 幸勝  
保宮 浅澤 藤上 込  
海雨湯 小伊 水馬  
委員長 員 員 員 員  
副委員長 委 委 委 委

では、騒音レベルによる国際線着陸料金制度を導入し、低騒音型の航空機ほど着陸料金が優遇される制度を採用しており、これらの取り組みで、低騒音型航空機にシフトされることが望まれているとのことでした。

「成田空港の容量拡大に向けた最近の動きについて」では、

成田空港に関する四者協議会の結果をもとに、空港容量拡大に向けた飛行コースの検討状況、空港施設面からの課題及び環境対策・地域共生策の方向性についての報告がありました。

「今後の国際線発着枠配分方法について」では、国際線ダイ

ヤは曜日によって需要が異なり、また、週単位で管理することが国際的に見ても標準であることから、安全かつ効率的に成田国際空港を運用するために、発着回数については、おのおの曜日を一律に管理するのではなく、週単位で弾力的に管理していきたいとのことでした。

「(仮称)久住パークゴルフ場整備事業について」では、発注した工事のうち現況道路内で計画していた流末排水路の整備

工事について、隣接地権者より現況の道路は、境界が確定していないのではないかと指摘を受けたため、その調査を実施する間、工事を中断していたが、

境界確定作業等を実施した結果、隣接地権者の同意・協力を得られたので、工事を再開したとのことでした。

「成田市四谷地先で発見された航空機部品について」では、航空機部品は、長さ86センチメートルのゴム製の管で、成田市四谷地先の水田で発見され、その後、成田国際空港株式会社を通じて、国土交通省へ調査を依頼したとのことでした。

## 新駅・基幹交通網整備 促進特別委員会

執行部から4件の報告がありました。

※航空機騒音のうるさを表す指数。加重等価平均感覚騒音レベル (WECPNL)。

「成田新高速鉄道について」は、平成21年8月末現在の用地取得率は97%で、工事は順調に進んでおり、新型車両の試験も実施されているとのことでした。また、印旛沼漁業協同組合事務所内にある成田新高速鉄道・北千葉道路インフォメーションセンターが、リニューアルオープンしたとのことでした。

また、8月28日に実施した京成電鉄株式会社へのダイヤグラム編成並びに運賃設定に関する要望活動について報告がありました。成田湯川駅については、駅構内のエスカレーターやエレベーターの設置工事が進められており、(仮称)土屋駅については、土屋地区の現況が反映された駅需要の予測調査を実施するための調整を進めているとのことでした。

「成田湯川駅周辺整備について」は、駅南側では、成田ニュータウン地区から成田湯川駅へのアクセス道路の一部工事を進めながら、用地交渉を実施しており、また、都市計画道路玉造線・湯川線並びに駅前広場の工事の発注を行い、鉄道開業までの完成を目指すとのことでした。駅北側では、市道松崎塙下湯川線の道路線形について合意の

得られた方から用地交渉を実施しているとのことでした。既設JR線との立体交差化工事については、前後の道路工事が完成してからの着工見込みとのことでした。

「一般国道464号北千葉道路について」では、成田新高速鉄道との一体整備区間の平成21年8月末現在の用地取得率は、全線で95%であり、今後、本格的な道路工事に着手していくとのことでした。

また、北千葉道路単独区間については、8月末現在の用地取得率は、50%であり、今後は用地買収を進めながら、工事着手に向けた地質調査等を実施していくとのことでした。

【主な質疑】  
問 成田湯川駅に並行する北千葉道路の完成はいつごろか。  
答 成田湯川駅周辺の北千葉道路については、平成22年度の完成を予定している。

「首都圏中央連絡自動車道について」では、大栄ジャンクションは、平成21年9月から工事着手を予定しており、併せて地元説明会を予定しているとのことでした。

【主な質疑】

平成21年9月成田市議会定例会審議案件一覧

議案番号	件名	議決の結果
1	教育委員会委員の任命の同意を求めるについて (山口 恵子)	同意
2	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて (大里 操)	同意
3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めるについて (三浦 節子)	同意
4	成田市税賦課徴収条例の一部を改正するについて	可決
5	成田市国民健康保険条例の一部を改正するについて	可決
6	成田市国民健康保険税条例の一部を改正するについて	可決
7	(仮称) 成田市・富里市新清掃工場建設工事請負契約の締結について	可決
8	市営住宅南団護台団地1期新築工事(建築工事)請負契約の締結について	可決
9	(仮称) 大栄野球場本体整備工事請負契約の締結について	可決
10	(仮称) 大栄野球場照明塔新設工事請負契約の締結について	可決
11	市有財産の無償貸付について (大久保台区)	可決
22	専決処分承認を求めるについて (平成21年度成田市一般会計補正予算(第2号) = 専決第5号)	承認
23	平成21年度成田市一般会計補正予算(第3号)	可決
24	平成21年度成田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	可決
発議案第1号	細菌性髄膜炎ワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書	可決
発議案第2号	肝炎対策のための基本法の制定を求める意見書	可決
発議案第3号	食品表示制度の抜本的な改正を求める意見書	可決

平成20年度決算関連議案(議案第12号~21号)は継続審査。

問 工事を進めるに当たり、国道51号への通行の影響は。また、道路の排水整備はどのように考えているのか。  
答 今回は土工事であり、土砂の運搬時に若干の影響が予想される。また、道路の排水については、調整池を設置し対応する予定である。

新清掃工場整備  
特別委員会

執行部から「環境影響評価の経過について」の報告があり、平成21年8月25日に環境影響評価書を千葉県知事に提出し受理された。今後の予定として、環

境影響評価書が公告され、千葉県、成田市、富里市において縦覧する。また、この公告をもって事業着手が可能となり、これで工事着手前までの環境影響評価手続についてはすべて終了することとなった。また、今後は工事への対応、あるいは事後調査があるとのことでした。

## 一般質問から



コスモス

一般質問は、市長などに市政全般について疑問な点や方針などをたずぬるものです。

9月定例市議会では、14人の議員が質問に立ちました。

市議会だよりに掲載されている内容は、会議録を抜粋したものです。詳しくは会議録をご覧ください。閉会后約2ヵ月で、市役所行政資料室、市立図書館、公民館図書室でご覧いただけます。

また、一般質問の様子は、市議会ホームページの議会中継でもご覧いただけます。

### 入札制度と 成田市総合保健福祉計画について

佐久間一彦 議員

**問** 指名競争入札から制限付一般競争入札へ変更を行い2年半が経過したが、現行の入札制度における問題点と今後の改善の必要性について。

**答** 入札は、透明性、公正性、また適切な競争性を確保するため制限付一般競争入札を電子入札で実施している。制限付一般競争入札については非常に有効な手段であり、今後も継続して行いたいと考えている。

成田市では、入札改革・電子入札の指針として発注基準を定め、多くの工事は、市内業者の

みが参加できる条件で発注し、地元業者の育成という観点からはその役割を果たしていると考ええる。また、500万円以上の工事には最低制限価格を設け、対応している。平成20年度に要綱等を整備し取り組んでいる総合評価落札方式を試行しながら、優良な企業による高品質な工事の施工を確保できるようにしていきたい。

入札制度改革については今後も、調査研究を重ね、時代の要請にこたえられるよう取り組んでいきたい。

入札制度改革については今後も、調査研究を重ね、時代の要請にこたえられるよう取り組んでいきたい。

**問** 成田市総合保健福祉計画について。

高齢者・障がい者・子育て家庭に対する今後の課題と取り組みは。また地域福祉を推進するための施策は。

**答** 安心して暮らせる環境づくりのため、介護保険サービスのほかに紙おむつの支給や住宅改造費の助成、各種福祉手当の支給や、独居高齢者等を対象に緊急通報装置の貸与を行っている。また、生きがいづくりと社会参加の取り組みのために、グラウンドゴルフ等各種活動の支援や教養講座などの開催も行っている。今後も、高齢者のニーズを的確

にとらえていきたい。

障がい者の就労場所確保のため、平成21年7月に保健福祉館内に障害者就業・生活支援センターを開設した。また、グループホームなどの住環境の整備を支援していく。

子育て家庭に対しては、父母が子育てについて協力し合えるよう、男性の育児参加を中心とした意識改革に努めていく。また、各種相談支援体制の充実を図っていく。

地域活動の活性化を図るため、地域コミュニティづくり推進事業やファミリーサポートセンター事業などを支援していく。

### 再生土の埋め立てと 成田市の農業について

足立満智子 議員

**問** 再生土の埋め立てについて。成田市上福田の山林における再生土の埋め立ては、廃棄物や残土のカテゴリーでは規制ができない状況で放置されている。地下水汚染等の不安もあるので成田市独自の規制ができないか。

**答** 成田市上福田の埋め立ては、北総県民センターとの協議においても、廃棄物の不適正処理であるとの認識で一致しており、今後、監視体制を強化し、異常

が発見された場合は千葉県への報告並びに関係各課による是正指導を行っていく。

今後の事例や判例、国の廃棄物の再資源化に関する方針など、情報の収集に努め、再生土の位置づけ、それに基づく規制について研究していきたい。

**問** 成田市指定ごみ袋について。最近破れやすいという声を聞くので調査を。またレジ袋から鉛

が検出された国で製造されている。業者を認定する際、国内製を基準にできないか。

**答** 現在、成田市の代理店3業者ともタイ国の同じ製造業者に発注している。今後、指定ごみ袋が規格に合ったものか、環境汚染を及ぼす鉛などの物質が含まれていないかも含め、定期的に品質などの試験結果報告書の提出を義務づけるなど、代理店の指導監督をしていく。

**問** 農地法改正と成田市の農業について。

このたびの改定は、戦後の農地改革以降日本農業の根幹であった農地法を根底から変えるものといわれる。成田市の現状と課題は。

**答** 成田市の農業は、農産物の価格低迷と担い手農家の高齢化や減少、農地の耕作放棄地化が



▲地元の野菜が並ぶ農産物直売所

進むなど様々な課題を抱え厳しい状況である。これら諸課題の解消に向け適切に対処していくとともに、耕作放棄地の解消に向けた取り組みや住民の食への関心が高まる中、それらに対応するための市民農園などの取り組み、農産物直売所等に対する支援も行っていきたいと考えている。

## 議会棟の環境と 成田国際文化会館の建替えについて

村嶋 照等 議員

**問** 議会棟の環境について。省エネと温暖化防止のためにも議場に窓の設置を検討できないか。

**答** 庁舎は、竣工後約21年が経過し、各設備機器において経年劣化等により、空調機の更新、電気設備や給排水設備などの改修工事を平成21年度より実施している。庁舎改修においては、省エネルギーに十分配慮し、成田市環境保全率先行計画の目標達成に努めるよう計画している。

現在の議場は、天井部分がトップライトになっており、間接的に自然光を取り入れる構造になっている。成田市においても、庁舎に限らず管理する全ての施設にお

農業は耕作者が農地に関する権利を有することが基本的な構造であり、耕作者と農地が農村社会の基盤を構成する必要不可欠な要素であることを十分に認識し、多様な担い手の支援に努めていきたい。

て費用対効果の検証をしながら、効果的に省エネが図れるよう研究していく。

**問** 成田国際文化会館の建替えについて。

大型の公共工事を控えている成田市でおよそ200億円ともいわれる施設の建替えは見直すべきではないのか。

**答** 昭和50年に建設された成田国際文化会館は、老朽化の状況が年々深刻化し、平成10年度に実施した建物診断に基づき、緊急性を考慮し、各種改修工事を逐次実施してきた。その後、新たに緊急性・危険性のある箇所が発生し、平成21年度に大規模改修工事を実施する計画をしていたが、10数億円という多額な

費用、全館休館を伴う1年間という工期、さらに改修後多くは望めない耐用年数などが判明し、検討を重ね、大規模改修工事は断念した。

新しい施設の基本構想は、今後の計画の検討課題の抽出、施設の適正規模や方向性などの基本項目を調査し策定する。その後の事業の進め方は、各方面の意見を伺いながら様々な課題を整理し、新総合計画と全体の事業計画との整合性を図り、今後予定される大規模事業などを考

## 障がい者福祉と 成田赤十字病院について

青野 勝行 議員

**問** 障がい者福祉について。

成田市では、障がい者の個々の現状を把握しているか。障がい者各人に対してどのように自立に向けた支援や援助を具体的に講じるつもりか。また、ワンストップサービスの福祉の総合相談窓口と福祉トータルサポートができる専門部署が開設できないか。

**答** 障害者手帳申請時の診断書や本人、家族からの聞き取りにより、現状把握に努めている。福祉サービスの利用に際しても、障害程度区分認定調査により詳



▲成田国際文化会館

慮していきたくと考えている。なお、事業費については、施設規模を含めてまだ明確にはなっていない。

細な状況の把握を実施している。自立に向けて、心身の状況や希望に応じた福祉サービスの利用の支援をしており、平成21年7月に保健福祉館内に障害者就業・生活支援センターを開設し、専門職員によるきめ細かな就労支援を実施している。また、国の緊急雇用創出事業を活用した障がい者雇用促進事業などを実施し、就労を支援していく。

ワンストップサービスの福祉の総合相談窓口と専門部署の開設については、現在の担当課において、よりわかりやすく制度

やサービスの説明をし、世帯訪問や関係機関との連携を密にするなど、きめ細かな対応を実施することにより相談支援を充実していく。

**問** 医師不足が深刻な問題となっている成田赤十字病院が緊急時拠点病院としての救急医療機能を維持するために成田市としてどう対応するのか。また、印旛市郡医師会及び成田市医師団からのような提案がされているのか。

**答** 成田赤十字病院に対し、引き続き医師の確保に向けた努力と、医療体制の整備を強く要請している。

印旛市郡医師会及び成田市医師団に今後の一次救急について、専門的な立場から検討をお願いしたところ、午後11時以降の一次救急については今後も成田赤十字病院での対応が現実的な解決策であり、その救急業務に当たる医師、平日9名及び休日12名の一次救急と医師確保など救急医療堅持の経費約3億7千万円を成田市に費用負担してほしい旨の提案があった。この経費内訳は、時間外勤務手当などの人件費であり、現在、その内容について精査、検討をしている。

## 防災拠点整備の推進と ワンストップサービス等について

水上 幸彦 議員

**問** 防災拠点整備の推進について。

**答** ①防災拠点整備の現状と避難所の整備状況は。  
②共同利用施設や集会所及び公園等を小規模防災拠点として整備する考えは。

**答** ①成田市地域防災計画に基づき人口増加など社会情勢の変化に対応した防災拠点の整備に努めていく。  
②共同利用施設等は一時的な避難場所として認識しており、公園は、都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業の内容、公園の状況、都市公園法との整合性を考慮し備蓄倉庫や貯水槽等の施設設置について研究していく。

**問** 総合窓口(ワンストップサービス)について、平成20年6月議会の答弁に対する取り組み状況は。

**答** 現在、総合窓口の設置も視野に入れ、窓口業務システムの再構築を進めている。また総合窓口の設置についても引き続き検討を進めていく。

**問** コミュニティセンター機能強化について、施設の充実と三里塚コミュニティセンターを地域住民やサークル等で利用している方たちの交流の場として考えられないか。

**答** 施設の充実は、利用者のニーズを把握するとともに、施設の位置づけやほかの公共施設とのバランスを踏まえながら今後の課題とする。これからのコミュニティセンターは、例として地域の自治組織、施設利用者を中心に今後の事業や運営を考える組織づくりを行い、市民の参加を促進していくことが必要ではないかと考えている。

**問** 新清掃工場の付帯施設について。

**答** ①新清掃工場建設は、長谷川市長時代に豊住地先に決定し、用地の買収まで行われた。それにもかかわらず、市長がかわり、富里市に建設することに變更された。そして、また市長がかわり、小泉地区との間で次の焼却場は小泉地区にはつくらないという約束を承知の上で、現在の小泉地区に建設されることになり、これまで15年間にわたる長い年月が費やされた歴史がある。そこで、付帯施設の現在の進捗状況を伺う。



▲人々が集う三里塚コミュニティセンター

**問** コミュニティバスの今後のあり方について、平成22年度で3路線の債務負担行為が終わるが、次期契約のあり方や運行方法等についての研究成果は。

**答** アンケート結果や要望、他市の運行方法や契約方法などを含めて調査・研究した内容をもとに、コミュニティバス等交通会議で意見を伺いながら市民が利用しやすいコミュニティバスの運行に努めていく。また、より高い利便性を求める要望に対しコミュニティバスを補完する新たな交通手段を加えた交通体系の整備が必要と考えている。

## 新清掃工場の付帯施設と いずみ清掃工場について

海保 貞夫 議員

**問** 新清掃工場の付帯施設について。

**答** ①平成18年度に基本構想を策定し、現況実測図、測量作業を実施した。19年度には、余熱利用施設基本設計(案)の作成を行い、20年度にパブリックコメントを実施した。

**問** いずみ清掃工場について。

**答** ①平成18年度に基本構想を策定し、現況実測図、測量作業を実施した。19年度には、余熱利用施設基本設計(案)の作成を行い、20年度にパブリックコメントを実施した。  
②新清掃工場の完成からできるだけ遅れない時期を考えている。  
③パブリックコメントの実施時の計画面積は約10ヘクタール、余熱利用施設の計画延床面積は約5,000平方メートルとなっている。場所は、新清掃工場建設地から北側にある山林に、整備する計画である。具体的な施設内容は、地元小泉区やパブリックコメントの結果などを含め、多くの意見・要望などを検討した上で、管理・運営体制を含め、施設計画に反映していく。  
④国道51号を經由し、野毛平工業団地脇の市道野毛平西和泉線に入り、現在、整備中の市道野毛平小泉線を通り、新清掃工場に搬入されるものと考えている。

## 市営住宅と農業問題について

内山 健 議員

**問** 市営住宅と高齢者等の住宅

確保等について。

**答** ①修繕に要した費用及び一般廃棄物処理業者へ焼却委託した費用について過去5年間の実績は。  
②今後、新清掃工場が稼働するまでの間、どの程度の維持管理費を見込んでいるのか。

**答** ①修繕料は過去5年間で、合計約5億2,162万円、年間平均では約1億433万円となっている。焼却処理委託料は過去5年間で、合計約3億6,762万円、年間平均では約7,353万円となっている。  
②今までと同程度の費用が必要と考えている。



① 現行の成田市住宅マスタープランと新たに作成される住生活基本計画から見えてくる今後の市営住宅のあり方は。

② 高齢者、障がい者、単身者等の住宅確保について。

③ 市営住宅の募集方法及び入居選考方法について。

答 ① 老朽化した木造住宅の建替事業を推進し、単身者や障がい者の自立を支援する住宅整備も検討していく。

② 今後、整備するすべての市営住宅でバリアフリー化を進め、単身高齢者や車いす対応の住宅を確保するよう努めていく。

③ 高齢者などの別枠の募集や抽選方法なども検討していきたい。

問 法定外公共物について。

① 成田市で受けた法定外公共物の赤道、青道の総延長と台帳管理は。

② 成田市法定外公共物管理条例を改正し、土地交換ができるようにすべきではないか。

答 ① 赤道が約1,245キロメートル、青道が約878キロメートルであり、その台帳は、ファイリングして保管している。

② 現条例により管理し、その財産の処分は財務規則により適正に売却、譲与、交換などの手続を行っている。今後他市の状況

等を見極めながら関係条例等の改正も含めて検討していきたい。

問 農業問題について。

① 農地法等の一部改正による成田市農業について。

② 農地利用集積円滑化事業について。

答 ① 多様な担い手の参入が期待され、耕作放棄地の解消や効率的な耕作による経営の改善などにつながるもので、成田市としても支援していきたい。

② 農地利用集積円滑化団体では農地貸借時の中間保有リスクがなく、効果的かつ円滑に面的集積を促進することができる。また、農業センターは農地保有合理化法人であるため円滑化団体への移行が可能である。

## 成田空港と 新型インフルエンザ対策について

馬込 勝末 議員



▲木造の市営住宅

問 建設業と地域の元気回復事業について。

答 成田市では、建設関係団体から元気回復事業についての申し出がなかった。今後、業種を超えた連携などによる地域活性化に向け研究をしていきたい。

問 市長は総選挙の結果をどのように受け止めているか。また、民主党の政策である補助金を全廃し一括交付金化することによる成田市への影響、道州制による基礎的自治体の規模や能力の拡大についての考えは。

答 年金・医療・雇用・格差問題などで良い結果が出なかった

ことが政権交代になったと受け止めている。一括交付金や基礎的自治体については、民主党の掲げる政策の内容、財源の裏づけ及び国と自治体との関係などが具体的に示されていないため今後の動向を注視していきたい。

問 建設業と地域の元気回復事業について。

① 主な内容は。

② 今後の成田市での規制に向けての取り組みは。

答 ① 北側隣地境界線からの斜線による高さの指定に加えて、絶対高さの制限を組み合わせたことが可能となった。

② 成田ニュータウン地区の土地利用状況の調査結果をもとに、高さ制限のあり方について十分に検討し判断していく。

問 成田空港の現在の運用状況から空港容量30万回を議論する状況にはないのか。また、経済波及効果の試算は大きすぎるのでは。

答 世界的な景気の後退、また新型インフルエンザなどの影響により、航空旅客数・貨物量ともに減少しているが、国の首都圏における航空需要予測では、今後、増加することである。また、経済波及効果、雇用効果

問 成田土屋駅の設置に向けての今後の取り組みと展望は。

① 請願採択後の取り組み状況と課題について。

② 市民が望む土屋駅は、いつ設置できるのか。

答 ① 国や千葉県へ要望活動を行い、「土屋新駅設置に係る研

及び税収効果もそれぞれ増加すると推計している。

問 地上デジタル化について、集合住宅の共聴施設対策などはおこなっているが現状と問題点は。

答 総務省は、共同受信施設の地デジ化促進に乗り出している。また、構造物の影響で地上デジタル波の受信が困難になることが懸念され、もし航空機の影響があれば成田国際空港株式会社と協議をしていきたい。

問 新型インフルエンザで重症化した患者を受け入れる病院の体制は。また、一般診療所における受診体制は。

答 厚生労働省では、入院治療に際し、医療体制確保のための対策を検討するよう都道府県、医療機関へ要請している。また、受診体制は、原則として季節性のインフルエンザと同様に一般医療機関において行っている。

問 成田土屋駅の設置と小中一貫教育について

海保 茂喜 議員

※1：道路法や河川法といった法律の適用を受けないで、里道（赤道）や水路（青道）に使用されている土地のこと。

※2：都市計画法によって建築物の高さの最高限度または最低限度が定められている地区のこと。

究会」を立ち上げた。新駅の需要やダイヤ編成上の課題については、千葉県や関係機関と協力し解決策を検討していきたい。②一日も早く現実のものとなるよう引き続き取り組んでいく。

問 小中一貫教育について、検討の必要はないのか。

①先進自治体の調査・研究から小中一貫教育についての見解を。②学校適正配置に小中一貫教育の導入の考えはあるか。

答 ①組織運営、施設・設備のあり方、教育課程の編成等について研究している。

②施設一体型一貫校あるいは分離型一貫校の整備も視野に入れて進めていきたい。

問 地域で豊かに生きられるために。

①介護対策について高齢者福祉の課題と今後の展望は。

②重度要介護者や認知症の家族を支える療養型通所介護と認知症ケアが必要と考えるが見解を。

答 ①介護サービスに必要な人材育成、人材確保は特に重要な問題であるので、機会あるごとに国や県に要望していきたい。

②成田市には療養型通所介護を行う事業所がないため訪問看護等の利用を促進し、また認知症

ケアでは、今後もサポーター養成講座を開催するとともに、その家族に対しても支援していく。

問 成田空港が完全空港になるための見解を。

答 空港敷地内の未買収地の問題が解決し、騒音対策、地域共生策等が確実に実施されてこそ空港の完全化と考えている。

問 新清掃工場整備事業の検証

### 成田空港の完全化について

堀川 洸 議員

問 成田空港の完全化について。

①成田空港では、平成21年10月に2、500メートル平行滑走路の供用が開始されるが、これにより成田市として空港は完成したと判断することになるか。

②将来における成田空港を、日本を代表する国際空港として維持するため、成田市は将来における空港づくりに積極的に支援、協力をする必要があると考えるかどのような方法で対応しているか。

答 ①国では、既設の4、000メートルと今回の北伸による2、500メートルの2本の滑走路が完成すれば国際拠点空港

は。また、今後事業は順調に進むと考えてよいか。

答 入札の結果、建設工事、運転業務費とも大きく予定価格を下回る落札額となったことは、競争性が大きく働き、また平成20年12月時点での経済状況の違いや助燃材などの価格が安価になったことによるものと考えている。また、今後事業が順調に進んでいくよう取り組んでいく。

としての機能は十分発揮できるとの認識を示しているが、本来計画の平行滑走路予定地内には今現在も劣悪な環境の中で生活している方々があり、2、500メートル平行滑走路の供用開始により大型機の離着陸も始まるため、一層厳しい状況に置かれることになる。

また、空港敷地内には未買収地も残っておりこれらの問題が解決し、さらには成田空港は大規模な内陸空港という地域性からも空港建設だけでなく騒音対策、地域共生策等が確実に実施されてこそ、空港の完全化であると考えている。

また、成田市の将来としては、成田空港の将来を考えていく中で、空港を最大の地域資源、経済資源として位置付け、その発展が地域の発展にもつながるといふ観点のもと、空港の発展、維持拡充のため、協力できることは積極的に協力していきたいと考えている。しかし、成田空港は大規模な内陸空港であるので、航空機騒音の影響を受けながら生活している皆様の生活環境の保全に十分配慮されなければならないと考えている。

### 国保・医療保障と新清掃工場問題について

鶴澤 治 議員

②成田空港は国際線の基幹空港、羽田空港は国内線の基幹空港という基本的な役割分担を堅持しつつ、両空港が相互に補完しながら今後増大すると予測される首都圏の国際航空需要に対応しなければならぬと考えている。今後も成田空港が日本を代表する国際拠点空港としての地位を維持しつつ、その役割を果たしていくためには、さらなる容量の拡大は最重要課題であり、四者協議会においても成田空港の容量拡大の検討に着手している。

また、成田市としては、成田空港の将来を考えていく中で、空港を最大の地域資源、経済資源として位置付け、その発展が地域の発展にもつながるといふ観点のもと、空港の発展、維持拡充のため、協力できることは積極的に協力していきたいと考えている。しかし、成田空港は大規模な内陸空港であるので、航空機騒音の影響を受けながら生活している皆様の生活環境の保全に十分配慮されなければならないと考えている。

問 国保、医療保障について。

厚生労働省は、医療機関の未収金を未然に防止するため、生活困窮者の医療機関窓口での一部負担免除の制度化を提示した。この減免制度化は、生活困窮者の負担が軽減され、保険料軽減拡大にもつながるものと考えているが、市長の見解は。

答 国では、医療機関において増大する医療費の未収金の主要な発生原因が、生活困窮と悪質滞納であることから、国民健康保険における一部負担金減免制度の適切な運用や医療機関、国

保、生活保護の連携によるきめ細かな対応が必要であり、一部負担金の減免についても、一定の基準を示す予定であるとのことから、成田市としては、今後の動向を注視していきたい。

問 新清掃工場問題について。

①市長は、今度の入札結果をどう見ているか。

②温暖化防止、CO<sub>2</sub>削減が厳しく問われる中、ガス化溶融炉でCO<sub>2</sub>対策はできるのか。また、20年間の運転業務委託における契約金額が不足することは

ないか。

③用地代金を含め50億円として計画されている余熱付帯工事について、計画の大幅な見直しをするべきと考えるが見解を。

答 ①競争性が大きく働き、また、平成20年12月時点での経済状況の違いや助燃材などの価格が安価になったことから建設工事、運転業務費は予定価格を大きく下回る落札額となったと考えている。

②導入する酸素式のガス化溶融炉では、コークス式と比べ約3分の2程度のCO<sub>2</sub>の排出量と見込んでいるが、CO<sub>2</sub>削減のために燃やすごみ自体の減量も図っていききたい。また、運転業務委託については、固定費及び変動費単価のそれぞれごとに1年当たりにつきプラス・マイナス3%の許容範囲を超えた場合は、見直しの対象となり、物価変動による増額あるいは減額が生じることとなる。

③余熱利用施設の事業費については、現在確定しているものではない。今後、具体的な施設内容を固める際には、地元、小泉区をはじめパブリックコメントの結果なども含め、多くの方々のご意見、ご要望等を十分検討した上で、施設計画に反映していきたい。

## 教育問題と地域医療 次世代育成支援行動計画について

大倉重雄 議員

問 教育問題について。

- ①佐藤新教育長の抱負を。
- ②学校適正配置の進捗状況は。
- ③教育センターの拡充を。
- ④文化振興のため計画策定を。

答 ①教育の基本を発展させていくことが将来の成田の発展につながるものと考えている。

②アンケート調査や説明会を実施しており、よりよい教育環境の実現に向けて努力していく。

③教育センターの果たすべき役割は今後も大きくなるので、センター機能を充実していく必要があると考える。

④次期成田市生涯学習推進計画の中で、文化振興マスタープランを策定していききたい。

問 地域医療について。

- ①新型インフルエンザ対策について、今後の取り組みは。
- ②地域医療の現状と成田市の取り組みについて。
- ③成田赤十字病院の時間外療養費導入の結果は。また第一次救急医療確保のため3億7、200万円を毎年補助する考えか。

答 ①新型インフルエンザ対策



▲新たに増設された加良部児童ホーム

本部の体制を継続し対策を講じるとともに、最新の情報を提供し感染拡大の防止に努めていく。

②一次救急医療の確保という点で、ゆゆしき事態が生じていると認識している。このような状況を発生させないために、成田赤十字病院に医師確保を強く要請するとともに、医師会と協力しながら対応を検討していく。

③時間外療養費の導入は、いわゆるコンビニ受診の抑制になったものと思っている。また補助の期間については、3年あるいは5年の区切りをつけ、それぞれの年で見直しの作業を行うことで検討している。

問 成田市次世代育成支援行動計画について。

- ①今後、病児・病後児保育の施設整備をどう進めていくか。
- ②児童ホームの整備について今後の計画は。
- ③第3子以降の幼稚園・保育園の保護者負担金の軽減は。

答 ①後期行動計画に盛り込み、達成に向け努力していききたい。

## 住民基本台帳カードと 狂犬病予防について

雨宮 真吾 議員

問 住民基本台帳カードについて。

- ①成田市の交付状況は。また、発行者数が低迷している現状に対して市長の評価と認識、これからの課題は。
- ②多目的利用について、市長の見解を。また、その機能について市民への周知方法は。
- ③発行手数料の無料化について、市長の見解を。

答 ①平成15年8月の交付開始から平成21年3月末までの累計交付件数は2、870枚で交付率は2.3%である。またPR不足などにより利便性や重要性の理解が進んでいないと推察されるため、今後、PRの方法についてさらに検討していきたい。

②利用希望などの需要を把握したうえで検討していく。

③幼稚園では、就園奨励費補助金の増額により補助対象世帯の第3子以降の入園料・保育料がほぼ無料化される。また保育園では、2人以上保育園・幼稚園などを利用している児童の第3子以降の保育料が平成21年4月にさかのぼり無料化される。

②多目的利用については、個人情報保護が最も重要であるため踏み込めないのが現状である。また、成田市ホームページや広報への掲載、啓発用ポスターを掲示して周知を図っている。

③国の無料化に向けての普及促進を踏まえ、近隣市町村の動向を見ながら、今後検討していきたい。

問 狂犬病予防について。

- ①狂犬病予防接種の接種率の推移は。また、接種率向上についての考えは。
- ②雨天時でも実施できる集合注射会場の検討は。また、土曜、日曜の実施や時間延長は可能か。

答 ①接種率は、平成19年度が

※医療サービスを受ける際に、公的医療保険の支給対象にならない費用のこと。

65.3%、平成20年度が61.9%である。また、未接種犬の飼い主に対し関係機関と連携を図りながら接種指導をするなど、接種率向上のため継続的な啓発活動を実施していきたい。

②室内への変更を含めすべての会場を雨天対応とすることは困難であるため、実施順延や日曜日の実施、時間の延長について検討していきたい。

問 犬猫の登録について。

①犬の鑑札や注射済票は全国的にも低い装着率であり、成田市でも同様だと思いが見解を。②鑑札の代替としてマイクロチップを導入することは可能か。③成田市でも猫の登録を行い、苦情等を緩和する策を講じては。

答 ①装着率向上のため、大きさやデザインなど検討していきたい。②現段階では困難と考えている。③実施している自治体の状況を調査研究していきたい。

## 地域産業の活性化と 安心できる医療体制について

伊藤 竹夫 議員

問 地域産業の活性化について。市長が取り組んできた入札改革について、プラス面とマイナス面をどのように分析しているか。また、市内業者の認定はどのように行っているか。

答 制限付一般競争入札を電子入札で行うという方針を示した結果、競争性がより発揮され、談合など不正行為の行いにくい環境を整備できた。また、成田市入札参加資格審査に係る市内業者及び準市内業者の認定基準を作成し、その周知を図るとともに、事務所の現地確認を実施している。

問 情報格差の解消について。①成田市内において光ブロードバンドの整備地区と未整備地区があると、その現状は。②成田市内における光ブロードバンドと成田ケーブルテレビの整備の展望は。

答 ①大栄地区で平成20年10月にサービスが開始され、豊住地区では平成21年10月に開始される予定である。②未整備の久住及び下総地区では、平成20年に、NTT東日本に対して、要望書が提出されている。また、成田ケーブルテレビでは、平成21年度に三里塚地区への延伸計画が示されている。

問 印旛沼流域における自然と人との共生について。

答 国、県、周辺市町村及び印旛沼に係るすべての住民等が連携し、印旛沼の再生に取り組みでいくことが必要であると考え

問 食の安全について。

①成田市として食の安全に対して取り組んでいることは。②食育推進計画策定ワーキングチーム設置の状況は。

答 ①農薬の適正使用の推進や有機・減農薬栽培を行う農家に対する支援を行っている。②庁内横断的なワーキングチーム等の設置に向け協議している。

問 安心できる救急体制を維持していくために、行政として取り組めることは。

答 電話により365日、24時間体制で専門の医師及び保健師などが、無料で相談対応する健康相談ほっとラインの導入を検討している。

### 市議会だより編集委員の紹介

6月6日より市議会だより編集委員会のメンバーが変わりました。これからも、議会の内容を市民の皆さんにお伝えする良い紙面づくりを目指してまいります。



前列右から油田清委員長、湯浅雅明副委員長、後列右から海保茂喜、平良清忠、大倉富重雄、荒木博、鶴澤治の各委員

## コーヒー タイム



秋といえば、スポーツの秋・食欲の秋・読書の秋と様々ですがどのような秋が好きですか？

私はどこまでも高く澄んだ青い空、紅葉・・・が好きです。ところで、成田の秋の風物詩の一つとして「NARITA花

火大会 in 印旛沼」が毎年開催されていることをご存じですか。この大会は貴重な自然環境の保全を多くの人々に意識してもらおうと、貴重な財産である印旛

沼湖畔を舞台に展開します。秋の高く澄みきった夜空に大輪の花火が次々と紅葉のように開花する様子は心が癒されると思います。今年の大会は、市内外から5万人の来場者があり、大盛況の中、無事終了とのことでした。 M・Y

12月定例会市議会は、11月27日(金)開会予定です。

☆☆☆☆☆  
「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、市議会事務局へ。

電話(20)1570直通  
ファクス(24)0336  
ホームページ

成田市議会 検索

成田市議会だよりは再生紙を使用しています。

※市区町村に登録した際に交付されるもの。